



### にっこり笑顔満開の木工作!

4月29日(金)～5月5日(木)の7日間、釧路市こども遊学館(釧路市幸町)で、ゴールデンウイークイベント「木木(もくもく)ひろば」が開催されました。

期間中、木をテーマにした「木木サイエンスショー」、木製遊具である「木木あそびランド」等の様々な催しが行われ、当センターからは、イベント中盤の4月30日(土)・5月1日(日)の2日間、自然の素材を使った「ふれあい木工クラフト」を開催しました。

当センターは、こども遊学館のスタッフとボランティアの皆様にお手伝いをいただき、マツボックリや木の枝・輪切りの木等の森林の恵みで木工クラフト作りを行いました。



▽会場の様子



▽木工クラフト作りの様子



▽完成した作品

当日は、小さなお子さんや大人の方も熱中して木工クラフトを楽しんでおり、見本に忠実な作品や個性的な作品等を作っている姿が見られました。参加者の方々からは「楽しい!」「かわいい!」「また来てつくりたい!」「おもしろかった!」等の嬉しい声が飛び交っていました。

新型コロナウイルス感染症予防の対策もしっかりとられ、机の間隔も十分とった中で、2日間で約200名もの参加があり、親子や友達同士で木工クラフト作りに熱中する様子が見られる等、大盛況となりました。

この取組は、今年3月に虹別中学校の担当の先生より、森林の持つ役割や持続可能な循環型社会(SDGs 関連含めて)、食物連鎖のことなどの講話のご依頼があり協力することになり、全校生徒26名を対象に今回実施させていただいたものです。

### 森林の役割をわかりやすく講話!

5月19日(木)、標茶町立虹別中学校(標茶町虹別)で、総合的な学習の時間に「森林に係わる講話」の森林環境教育支援を行いました。

まず始めに、食物連鎖について学びました。学習をする上で、楽しみながら学習してもらうため、捕食者と被食者の関係性について意識してもらおうネイチャーゲームである「コウモリとガ」を実施しました。

生徒は、「コウモリ」と大きな声で楽しみながら学習していました。「ガ!」と大きな声で楽しみながら学習していました。

その後は、学校でシマフクロウの保護活動を行っているとのことで、生態系ピラミッドの話をして、頂点に立つ上位捕食者であるシマフクロウ



▽「コウモリとガ」実施の様子



▽森林に係わる講話の様子



▽生徒代表のお礼のことは

当日は、当センターに集合後、標茶町の雷別地区自然再生事業地（国有林）にバスで移動し、「植樹体験」「巣箱の組立て」などの活動を行います。

「植樹って大変そう」「森林のこと何も知らないYo!」という方も楽しく活動できるよう、当センターがサポートします！

森林に癒やされながら、楽しいひとときを過ごしてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

### 募集内容等

♪ 募集人数 15名（応募者多数の場合は抽選）

♪ 募集期間 6月17日（金）まで

♪ 参加資格 40歳くらいまでの方

（中学生未満は保護者同伴でお申込み下さい。）

♪ 氏名・年齢・住所・電話番号を明記のうえ、当センターまでFAX、メール、電話等でご応募下さい。

♪ 各自で、社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」等への加入を必ずお願いします。

♪ 詳細は、当センターホームページ（本紙最下段にURL記載）にも掲載していますので、ぜひご覧下さい。



## 林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h\_kushiro\_f@maff.go.jp

【URL】[https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro\\_fc/index.html](https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html)



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。

最後に、近年よく耳にするSDGs（持続可能な開発目標）の関係を森林・林業の循環利用との関連（植える↓手入れをする↓伐る（収穫する）↓使う）で具体例（副産物のキノコ、林業、レクリエーション利用で森林に親しむなど）を交えて講話をしました。いずれの項目も生徒たちは興味深く聞いてくれ反応が良く

などが生存していける森林を適切に維持管理していかないと人間も含めて生物全体の生存が危うくなる話しを行い、生徒たちは大きくうなずいて関心の高さを感じました。  
次に、森林のもつチカラ（豊かな森林の役割、水を蓄えるチカラなどをイラスト入りの資料で解説しました。

心強く、講師冥利につきる（やって良かった！）気持ちになりました。今回の取組を通じて生徒の皆さんが森林の良き理解者になってもらえれば大変うれしく思います。  
今後、要請があれば少しでもお役に立てるようセンターとして積極的に応えて行ければと考えております。

### 6月26日開催「若者Yo!雷別へ植樹に行こうYo!」参加者募集!

釧路湿原上流部と一緒に「広葉樹の森林（もり）」をつくりませんか。当センターでは、6月26日（日）に開催する「若者を対象とした森林再生ボランティア活動」の参加者を募集します。